

4. ケーブル末端処理上の注意

(1) 絶縁体上半導電性テープの剥ぎ取り

絶縁体上の半導電性テープは、次の順序で完全に剥ぎ取ってください。(半導電性テープのみを剥ぎ取っても、テープのケバ等を絶縁体上に残した場合、この部分の絶縁抵抗が低く、コロナが発生し、ケーブルヘッドの閃絡、絶縁破壊事故の原因となる)

- A. 絶縁体の端部より丁寧に剥ぎ取る。ただし逆巻きの場合は反対側より剥ぎ取る方が容易です。
- B. 次に絶縁体表面をガソリン、ベンジン等によく清拭し、十分乾燥させた後、必要な末端処理を行います。

(2) 端末部の浸水防止

ゴム、プラスチック電力ケーブルが屋外部で架空線と接続され、引出線として使用されている場合、端末施工が不完全であると導体内に雨水等が浸入し、ケーブルの特性が急速に劣化し、絶縁破壊事故が発生することがあります。導体端部にターミナルまたはT分岐を施し、完全に導体内への浸水を防止してください。

寒冷地では、導体内に浸水すると冬期に導体内で凍結し、絶縁体にも機械的な悪影響があると考えられます。

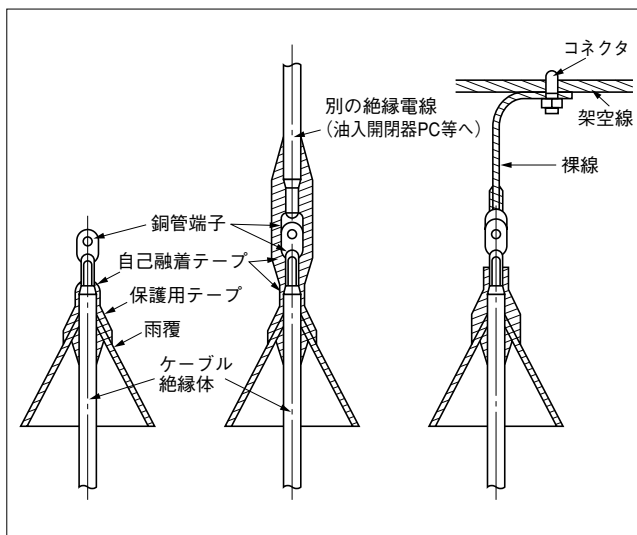


図1-4-1 端末施工例

(3) ZCT使用時のケーブル接地上の注意事項

ケーブル貫通形零相変流器 (ZCT) 使用時、しゃへい層を持った電力ケーブルでは端末の接地法を誤ると継電器が動作しないおそれがありますから次の点にご注意ください。

●ケーブルの接地線はまっすぐZCTを通してください。接地をケーブルブラケット取付金具等に接触させますと動作しない場合があります。(碍子型ケーブルヘッドなどの場合、取付架台には簡単な絶縁材を介して固定してください。)

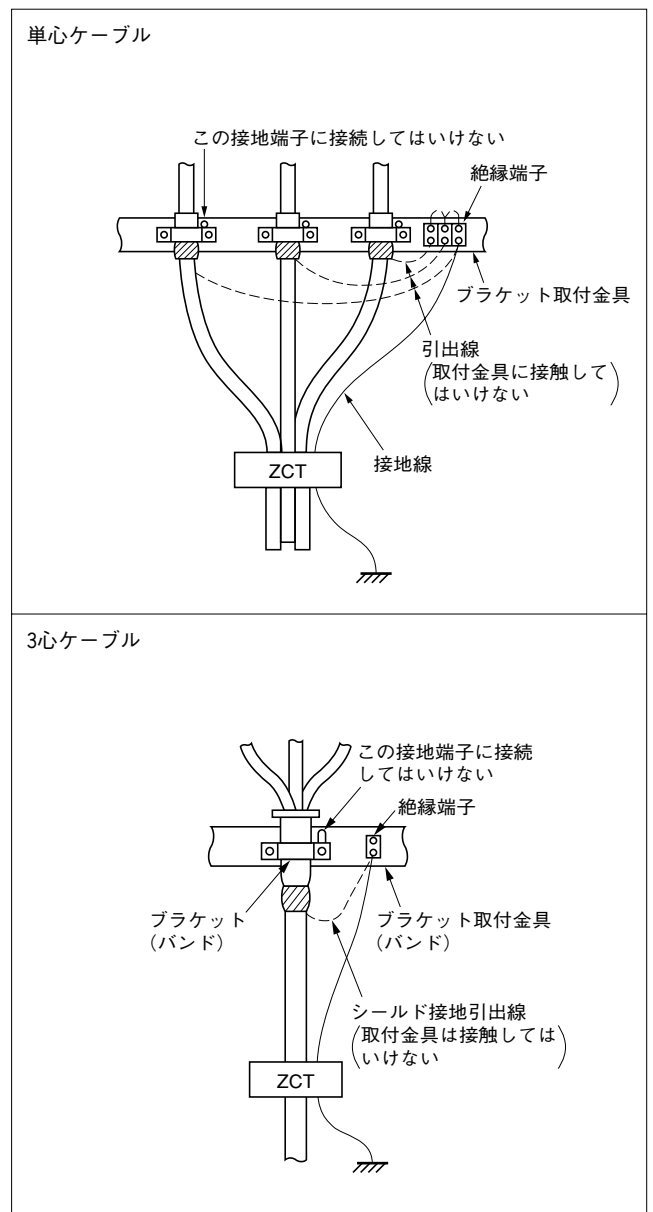


図1-4-2 ZCTの正しい使用法